

日本絨氈

日本絨氈(堺市西区、池崎雄太社長)は、創業150年のじゅうたんメーカー。部屋の形状に合わせて敷き詰めて施工する、正方形のカーペット「タイルカーペット」は国内2位の生産量を誇る。滋賀工場(滋賀県甲賀市)はタイルカーペットの量産工場として2017年に開設した。生産性を追求した高速ラインが特徴だ。製造はOEM(相手先ブランド)品がメイン。環境に対する関心の高まりを受けて、二

酸化炭素(CO₂)排出量が少ない製品の需要が伸びている。「3年ほど前から、取引先からリサイクルやCO₂排出量に関する問い合わせ

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

②

ガスから電気に熱源転換



モジュール式のため故障リスクの低減や将来の増設対応などが可能

冷却工程のCO₂、76%削減

わせが増えて「大次長心得」と明かす。島雄一製造ソリユシ 滋賀工場は居抜きでヨシ本部技術開発室兼 購入した。そのまま生産管理室兼滋賀工場 産設備の冷却用熱源と

して利用してきたガス 焚き吸収式温水機が劣化し、更新を検討。省エネルギー性能と運転効率を考慮して、東芝キャリアのヒートポンプ式熱源機「ユニバーサルスマートXエアエッジ32」に決めた。

熱源転換で一次エネルギー1換算の消費量は約67%、CO₂排出量は約76%の削減を試算する。同工場の主力設備ではないことから、工場全体のCO₂削減効果は原単位比較で4%減にとどまる。

「シヨン本部滋賀工場課長代理」と、安定稼働を評価する。

日本絨氈は環境を意

しかし、同熱源で作る冷水は表材と裏材を接着させたカーペットを冷やす工程に不可欠で、高速ラインを支える重要な役割を担う。メーカーに遠隔監視を委託して保守の手間を軽減。モジュール式システムで「万が一、1台壊れても、残り4台で生産を続けられる」(南大阪支局長・小林広幸)

【事務所概要】▽所在地 滋賀県甲賀市水口町さつきが丘37、07488・665
0620▽主要生産品目 タイルカーペット▽年間CO₂排出量 非公表